

授業科目名	世界のことばと社会
-------	-----------

授業の概要	静岡には、日本有数の中南米人コミュニティがあり、観光・商用などの訪日外国人は中国・韓国・台湾からの人々の数が突出している。また在留外国人数が全国8位であり、あらゆる場面で外国人とコミュニケーションを取る機会が多くなっている。静岡でより良く暮らし働くために、これらの地域の言語や文化、日本との関係、そして外国人と日本語でコミュニケーションする方法を学ぶ。
授業の目的	静岡と関わり深い4つの言語についての基本的知識を学ぶとともに、その社会文化的背景を理解する。加えて、日本における日本語教育の状況を知ることを通じて、日本社会における多文化共生について考察する。
授業の到達目標	○4つの言語のしくみと特徴を社会・文化的背景と関連付けて説明することができる。 ○日本社会の国際化について具体的な事例を示しながら説明することができる。
卒業認定・学位授与の方針との関連性	DP1：知識・理解、DP3関心・意欲に該当する。DP2：思考・判断に一部該当する。
授業の計画と内容	1. ガイダンス、中国のことばと社会—概説（戸田） 2. 中国のことばと社会—事例と解説（戸田） 3. 中国のことばと社会—考察（戸田） 4. スペインのことばと社会—概説（増井） 5. スペインのことばと社会—事例と解説（増井） 6. スペインのことばと社会—考察（増井） 7. 韓国のことばと社会—概説（崔） 8. 韓国のことばと社会—事例と解説（崔） 9. 韓国のことばと社会—考察（崔） 10. ブラジルのことばと社会—概説（江口） 11. ブラジルのことばと社会—事例と解説（江口） 12. ブラジルのことばと社会—考察（江口） 13. 日本のことばと社会—概説（谷） 14. 日本のことばと社会—事例と解説（谷） 15. 日本のことばと社会—考察（谷） ※授業の順番は変更される場合がある。

#### 教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
(指定しない)				

#### 参考書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
(講義中適宜紹介する)				

成績評価の方法	○毎回の「コメント・シート」 50% ○単元(=担当教員)ごとの「小レポート」(各々800字以上) 50%
成績評価の基準	○到達目標の達成度を評価基準とする。 ○小レポート(全5本)を4本以上提出していなければ不可と判定する。
フィードバックの方法	○Teams等を通じて、講評・コメントする。
授業時間外学修	次の2点のため、授業1回あたり4時間の学修を要する。 ○教員から指示された資料に目を通し、コメント・シートの指示に沿って授業で配布(配信)された資料を見直す。 ○小レポートの課題に沿って関連情報を収集・検討し執筆する。
実務経験のある教員の授業内容	(該当しない)
その他	講義資料の配信、授業の連絡、コメント・シートや小レポートの出題・回収、フィードバック等のためTeamsを利用する。第1回授業での指示に従って、速やかにTeamsに参加すること。(Teamsへの参加を失念あるいは遅延したことによって生じた不利益は、すべて受講生に帰される。)